幼稚園だより ちよだ

11月号

令和８年 10 月 30 日
千代田区立千代田幼稚園
園 長　　木 村 恭 子

心も体も動かして、「やってみたい！」を広げよう

園長　木村恭子

秋らしい爽やかな気候となり、体を動かして遊ぶことが気持ちのよい季節を迎えました。

10 月 3 日に開催した「親子運動日」では、一人一人が生き生きと、自分の力を発揮しながら踊ったり、走ったりする姿が見られました。地域や保護者の皆様の応援を受けながら、友達と一緒に取り組む楽しさや、力いっぱい体を動かす心地よさを味わい、満足感いっぱいの 1 日になったと思います。

今年度、本園では「存分に体を動かすための環境の工夫」をテーマに園内研究を進めています。子どもたちが夢中になって遊ぶ様子を手掛かりに、「やってみたい！」と自ら進んで心も体も動き出す姿がどのような場面で生まれるのかを探りながら、遊びや環境づくりに生かしています。

また、「幼少期に身に付けたい 36 の基本動作」（スポーツ庁「運動遊びBOOK」より）を参考に、日常の遊びや生活では経験の機会が少ない動きを確認しました。振る、ぶら下がる、這う、またぐなど、遊具や用具の配置、遊びの展開などを工夫し、多様に、体の動かし方を意識しながら楽しめるよう、実践を進めています。この取組の中では、教師自身もワクワクしながら一緒に楽しむことで、子どもたちの意欲が高まり、遊びがさらに広がることを実感しています。

運動遊びを通して育まれるものは、体力だけではありません。友達とルールや安全を守って遊ぶこと、力を出し切る心地よさ、仲間と力を合わせる楽しさや友達の取組や頑張りへの関心など、豊かな心や人と関わる力にもつながる、大切な経験を重ねていく子どもたちです。

今月も、一人一人の「やってみたい！」を大切に、心も体も存分に動かして遊ぶ楽しさを、日々の生活や遊びの中でさらに広げていきます。

千代田幼稚園のホームページもご覧ください